

圧電応用製品群

ランジュバン型振動子

この超音波振動子は、2個の金属ブロック間に圧電素子を挟んだ一体構造の振動子です。

P.Langevin(仏)によって発明されたことからランジュバン型振動子と呼ばれています。

多くはリング状の圧電素子をボルトで締め付けて一体構造にしていることから、ボルト締めランジュバン型振動子とも呼ばれています。

高電力・高振幅駆動が可能で、超音波の動力的利用の一つとして多用されています。



ランジュバン型超音波振動子の特徴

- 機械的Qが高い
- 高強度・堅牢
- 機器への取付が容易
- 高変換能率・少ない発熱
- 入・出力特性のリニアリティー

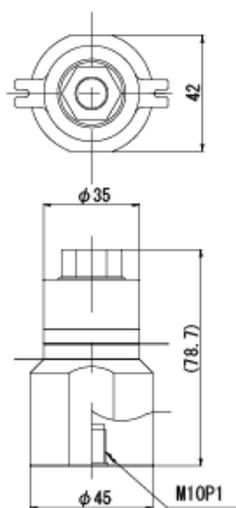
主な用途例

- 超音波洗浄機
- 魚群探知機・水中ソナー
- 霧化ポンプ

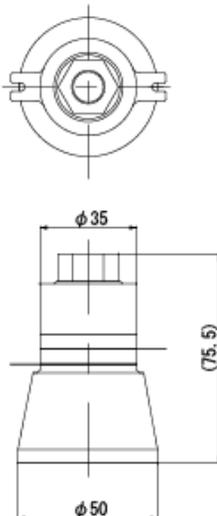
代表品種及び仕様

型式	寸法		特性仕様				水槽への 取付方法
	外径	高さ	周波数	アドミタンス	静電容量	最大入力	
	mm		kHz	mS	pF	W	
FBL28452HS	45	(79.1)	28	30	3800	70	ボルト締付
FBL28452HA-FC	45	(79)	28	30	3800	75	接着
FBL28502HA	50	(75.5)	28	30	3800	75	接着
FBL28602HA-FC	60	(70.2)	27.5	30	3500	75	接着
FBL40452HS	45	(53)	40	15	3800	70	ボルト締付
FBL40452HA-FC	45	(52.8)	40	15	3500	75	接着

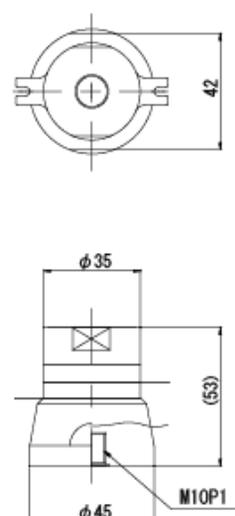
代表品種の外形寸法



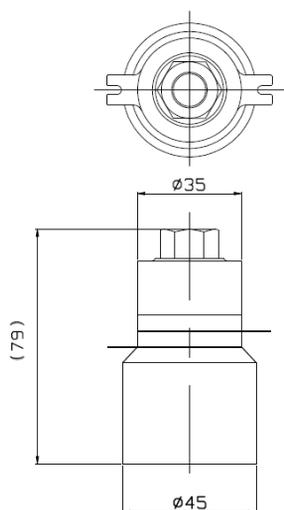
FBL28452HS



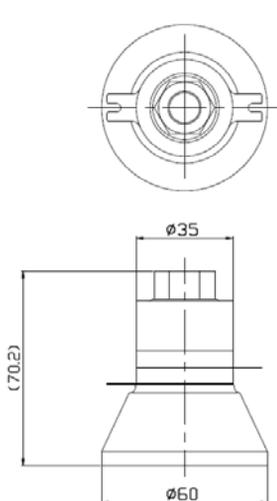
FBL28502HA



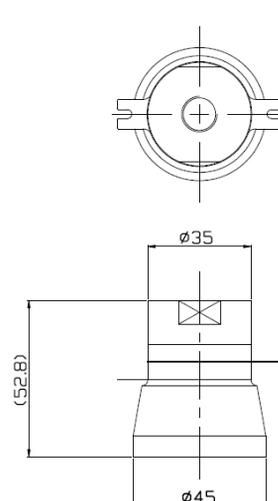
FBL40452HS



FBL28452HA-FC



FBL28602HA-FC



FBL40452HA-FC